

3月31日

テーマ：「アルファであり、オメガである主^{しゅ}」

聖書箇所：黙示録^{もくしろく} 22章^{しょう} 13節^{せつ}

◆今日のみことば

わたしはアルファであり、オメガである。最初^{さいしよ}であり、最後^{さいご}である。初め^{はじ}であり、
お^お 終わり^{おわり}である。 黙示録^{もくしろく} 22章^{しょう} 13節^{せつ}

◆メッセージ

これは、聖書の一番最後の本の中で、イエスさまが言っておられる言葉です。

アルファは聖書が書かれているギリシャ語アルファベットの最初の文字、オメガ^{omega}は最後の文字ですから、「最初^{さいしよ}で最後^{さいご}、初め^{はじ}で終わり^{おわり}」と続けて言われていますね。

この言葉が書かれた時は、イエスさまを信じているというだけで、もし捕まったら殺されるかもしれないような怖い時代でした。イエスさまを信じている人は世の中でとても弱くて、希望^{きぼう}を持ってない時代でした。そんな中でイエスさまが言ってくくださったのがこの言葉^{ことば}なのです。

もちろん、神さまは永遠に生きておられる方ですから、神さまご自身に初めや終わりがあるわけではありません。これは、「私たち人間にとって、神さまが初めであり終わりなんだよ」ということです。では、「あなたにとって、わたしが最初^{さいしよ}で最後^{さいご}だよ」というイエスさまの言葉は、どういう意味なのでしょう。

まず、「わたしはどんな時^{とき}でも、いつでもどこでもあなたと一緒にだよ」ということです。大変な戦争の中でも、周りがみんな敵に見えるような時でも、私たちが本当に弱って希望がないような時でも、「わたしは一緒だよ」とイエスさまは言ってくださるのです。

それから、「あなたはわたしが命^{いのち}を与えて、わたしのために生きるように造ったんだよ」ということです。神さま抜きに、私たちは自分の生きる意味を見つけれないんですね。

また、「あなたはたとえ死んでも、わたしのところに来るんだよ」ということです。私たちを造ってくださった神さまは、私たちが最後に完成まで導いてくださいます。「最後はぜんぶ神さまにお任せできる」という安心を大切にしましょう。

◆お祈り

「神さま。今日も私と私の生活の全てをあなたにお任せします。アーメン。」

(教団支援教師 白石剛史)

